

## (公社)日本観光振興協会 第62回通常総会 及び 令和7年度観光振興事業功労者表彰・表彰式を開催します

公益社団法人日本観光振興協会（本部：東京都港区 会長 菰田 正信（三井不動産(株)代表取締役会長））は、令和7年6月10日（火）に、品川プリンスホテルにおいて第62回通常総会を開催いたします。また、通常総会にあわせて令和7年度の観光振興事業功労者表彰式を開催し、別紙の通り全国で13名の皆様を表彰いたします。詳細につきましては、下記の通りです。取材をご希望の報道機関の皆様は、下記をご参照の上事務局までご連絡ください。

### 記

#### 1. 日時

令和7年6月10日（火）15：00～18：30

#### 2. 会場

品川プリンスホテル アネックスタワー5F「プリンスホール」  
（〒108-8611 東京都港区高輪4-10-30 TEL：03-3440-1111）

#### 3. 次第

(1) 開 会 (15：00～15：15)

主催者挨拶 公益社団法人日本観光振興協会会長 菰田 正信  
来賓ご挨拶

(2) 議 題 (15：15～16：00)

第1号議案：令和6年度事業報告及び収支決算について（案）

第2号議案：理事・評議役員・監事の補欠選任について（案）

第3号議案：公益社団法人日本観光振興協会定款の改定について（案）

報 告 事 項：令和7年度事業計画及び収支予算について

公益社団法人日本観光振興協会中期計画について

(3) 休 憩 (16：00～16：30)

(4) 令和7年度観光振興事業功労者表彰式 (16：30～17：00)

(5) 情報交換会：(17：15～18：30)

#### 4. 取材のお申込について

以下の URL 又は QR コードより6月8日（日）までにお申し込み下さい。

<https://forms.gle/4M2DFBA6FH3erFch9>



※会場の警備の都合上、事前にお申込をいただいていない場合は、取材をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

#### 5. 関連資料

別紙 観光振興事業功労者表彰受賞者及び功績一覧

以上

# 令和7年度観光振興事業功労者表彰 受賞者及び功績一覧

(敬称略)

## 【北海道】

きだ なおたか

平成3年～  
平成22年～  
平成25年～  
平成29年～

日交ハイヤー株式会社 代表取締役  
一般社団法人浦河観光協会 会長  
四町広域宣伝協議会 会長  
日高管内観光連盟 会長

**木田 尚孝** (62歳)

### 功績概要

平成22年から一般社団法人浦河観光協会会長に就任し、「馬産地」として他の地域にはない大きな特色であるサラブレッド乗馬を柱とした新たな体験観光プログラムなど数々の旅行商品の造成や、観光客のホスピタリティ向上に尽力し、日高地域の観光誘客促進に著しく貢献した。更には、日高管内観光連盟会長、えりも岬とんがりロード観光協議会(旧 四町広域宣伝協議会)会長等、地域の観光産業の柱として、浦河町および日高地域の観光戦略立案並びに観光振興施策を推進し、地域の観光産業の発展に著しく貢献した功績は顕著である。



## 【東北】

みかみ ちはる

平成12年～  
平成19年～23年  
平成28年～  
令和5年～

嶽開発株式会社 代表取締役社長  
岩木山観光協会 会長  
公益社団法人弘前観光コンベンション協会 会長  
公益社団法人青森県観光国際交流機構 理事長

**三上 千春** (65歳)

### 功績概要

平成19年から岩木山観光協会会長に就任し、地元町会等とともに、重要無形民俗文化財「お山参詣」に参加できる体験型コンテンツを開催するなど、地域の観光振興に取り組んできた。平成28年からは公益社団法人弘前観光コンベンション協会会長に就任し、弘前さくらまつりと世界的な人気キャラクター初音ミクのコラボ企画「桜ミク」を生み出すなど、新たな事業に取り組み、青森県への誘客に大きく貢献した。

令和5年からは公益社団法人青森県観光国際交流機構の理事長に就任し、地域資源を活用したクリスマスマーケット等のイベントの開催や県内DMOと連携した観光コンテンツの開発を行うなど、青森県観光振興の中心的な役割を担っている。



## 【関東】

まえだ しん

平成4年～  
平成17年～  
平成21年～  
令和6年～

株式会社マザー牧場 代表取締役社長  
日本電波塔(株)(現株TOKYO TOWER) 代表取締役社長  
かずさエフエム株式会社 取締役会長  
公益社団法人千葉県観光物産協会 会長

**前田 伸** (62歳)

### 功績概要

動物との触れ合い体験施設として老若男女を問わず親しまれ、学校教育等においても広く利用されているマザー牧場を経営する傍ら、地域全体を巻き込んだ新しい取り組みも数多く行い、官民連携による異文化体験の場の提供やインバウンド観光の促進に尽力するなど、活躍は多岐に渡っている。

さらに千葉県観光物産協会の理事・副会長を歴任し、協会の組織体制強化を図るとともに、会長就任後には、協会の主体性を発揮できる人材育成に取り組み、職員の能力開発にも取り組んでいる。



## 【関東】

とつか たかし

平成29年～  
平成10年～14年  
平成30年～  
令和2年～

株式会社東玉 代表取締役会長  
一般社団法人日本人形協会 会長  
一般社団法人埼玉県物産観光協会 理事  
岩槻観光委員会 顧問

**戸塚 隆** (84歳)

### 功績概要

文化の薫る人形の町岩槻において、地域の伝統産業であるひな人形や五月人形等の人形作りの普及・発展のため「東玉 人形の博物館」の運営等に尽力する一方、県全体の観光誘致事業にも積極的に参画し、伝統文化の継承・発展を通じて、国内外の観光客誘致に大きく貢献している。

また一般社団法人埼玉県物産観光協会の前身である、社団法人埼玉県物産振興協会副会長として社団法人埼玉県観光連盟との合併に尽力し、同協会副会長を永きにわたり務め、埼玉県の物産振興及び観光振興に貢献された功績は多大である。



## 【関東】

やまだ えいざぶろう

令和7年～  
令和6年～  
平成15年～令和6年  
令和6年～

有限会社浜焼センター 取締役会長  
寺泊観光協会 相談役  
公益社団法人新潟県観光協会 理事  
寺泊海岸通り魚商組合 顧問

**山田 栄三郎** (80歳)

### 功績概要

寺泊魚の市場通り組合長として「寺泊魚の市場通り」の認知度を向上させ、県内外からの観光客増加に尽力し、新潟県内トップクラスの観光地へと導いた。また寺泊観光協会長の立場では新潟県中越地震、中越沖地震での観光風評被害の払拭と対策を指揮し、被災地への支援やイベント開催などで風評被害の払拭に大いに貢献した。寺泊はもとより、新潟県内の広域観光促進と地域経済への波及効果に大きく貢献し、その成果は多大である。



**【中部】**

さかい ひこなり

昭和 62 年  
平成 11 年～  
平成 27 年～  
令和 5 年～株式会社三楽園 入社  
" 代表取締役  
富山県ホテル・旅館生活衛生同業組合 理事長  
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 常務理事**坂井 彦就** (64 歳)**功績概要**

長年にわたり富山県ホテル・旅館生活衛生同業組合の役員を歴任し、平成 27 年からは理事長として、組織の強化拡充や富山県の観光振興に寄与した。特に、北陸新幹線金沢開業に合わせた「とやまの美味しい朝ごはん」事業の取り組みや、コロナ禍にあって、「とやま安心の宿」認証制度開始や「オンライン料理教室」開催等により、観光産業の進展に努めた。令和 6 年能登半島地震の発災後は、県内ホテル・旅館のキャンセルや被害状況の把握、災害救助法に基づく被災者受入れ可否の調査など、迅速な初動対応や、県境を越えた被災者支援に尽力した。

**【関西】**

いながき やさか

昭和 53 年  
平成 21 年～令和 6 年  
平成 30 年～令和 6 年  
令和 4 年～令和 6 年上野市観光協会（現（一社）伊賀上野観光協会）入社  
" 専務理事  
国際忍者学会 監事  
伊賀市文化振興審議会 委員**稲垣 八尺** (69 歳)**功績概要**

永年にわたり伊賀上野観光協会職員として、専務理事として、伊賀地域の観光振興事業や情報発信事業等地域振興に努めている。中でも「忍者まつり」「伊賀上野 NINJA フェスタ」など国内誘客事業に取り組むほか、インターネット草創期には忍者を世界発信する「NINJA IGA（日本語・英語・中国語 HP）」をいち早く立ち上げ「海外 NINJA プロモーション」事業など積極的に海外に発信し、外客誘致に努めるなど、伊賀地域の観光振興に寄与した。

**【関西】**

おおいし ひろし

平成元年～  
平成 7 年  
平成 25 年  
平成 15 年～大石酒造株式会社 代表取締役社長  
天津大王酒造有限公司（中国合弁会社） 董事長就任  
農業生産法人大石食品株式会社設立/代表取締役就任  
一般社団法人亀岡市観光協会 理事**大石 博司** (84 歳)**功績概要**

亀岡市観光協会の理事に就任し、自身は酒造業を営み、酒造りを見学できる施設「酒の館」を開業し、産業の観光化に貢献し「来てよかった」と実感させる街づくりに取り組んでいる。また「牛若丸プロジェクト」を主導して立上げ、オリジナル地酒の販売やランチメニューの開発に関わるなど地域資源の掘り起こしに尽力するなど、亀岡市の観光振興に寄与した。

**【中国】**

かたやま のぶえ

平成 17 年～  
平成 19 年～  
平成 25 年～  
平成 26 年～備前市観光ボランティアガイド協会 副会長  
" 会長  
備前観光協会 理事  
岡山県文化財保護協会 理事・副会長**片山 伸榮** (76 歳)**功績概要**

備前市観光ボランティアガイドとして、長年精力的に活動を続けており、特別史跡旧閑谷学校や、日本六古窯「備前焼」のふるさと伊部のまち並みなど市内の観光スポットを日常的に案内し、その豊富な知識と丁寧な接遇が観光客から高い評価を得ている。また、同協会の会長として長年にわたり会員の増員やスキルアップにも尽力。優れた識見と指導力に加え、常に献身的な努力を傾注し、今日の備前市における観光ガイド活動発展の基礎を築いた。

こうした活動が来訪客の満足度を高め、リピーター客の増加に繋がるなど、備前市ひいては岡山県の観光振興に大きく貢献している。

**【四国】**

ふるや ひろし

平成 15 年～  
平成 16 年～  
平成 25 年～  
令和元年～日本旅館協会高知県支部 理事  
高知サンライズホテル 代表取締役社長  
高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 副理事長  
公益財団法人高知県観光コンベンション協会副会長**古谷 博** (70 歳)**功績概要**

平成 15 年から日本旅館協会高知県支部の理事を務め、国際観光旅館連盟との合併、四国八十八カ所霊場観光の推進、外国人観光客の受け入れ、観光関連行政機関との連携など、同支部の役員活動を通して観光振興を盛り上げるとともに、会員相互の連帯や指導育成に尽力されている。合わせて高知サンライズホテル代表取締役社長として、また（公財）高知県観光コンベンション協会副会長、高知県旅館ホテル生活衛生同業組合副理事長など観光及び旅館ホテル関連団体の役員として広く観光振興に貢献するとともに、観光客がよさこい鳴子踊りを体験できるイベント「よさこいアンコール」の実行委員長も務め、観光振興による地域活性化に大きく貢献している。

**【九州】**

やました やすお

平成元年  
平成 9 年～  
平成 22 年～  
令和 6 年～通潤酒造株式会社 入社  
" 代表取締役社長  
一般社団法人山都町観光協会 会長  
熊本酒造組合連合会 理事**山下 泰雄** (62 歳)**功績概要**

平成元年に通潤酒造（株）に入社後、山都町の米や水にこだわった丁寧な酒づくりに取り組み、平成 9 年に代表取締役社長に就任後は地元農家と連携した酒づくりにより地域の活性化に貢献し、また、平成 15 年に旧矢部町の観光協会会長に就任、平成 18 年には矢部町・清和村・蘇陽町の旧 3 町村合併による山都町の誕生に伴い発足した山都町観光協会の初代会長に就任し、現在に至るまで山都町の観光客誘致に貢献している。さらに、平成 18 年より現在に至るまで、（公社）熊本県観光連盟の理事として魅力ある観光地づくりや国内外からの誘客促進に向けた観光 PR や商品造成等の事業において、県の観光振興行政と地域をつなぐパイプ役であるとともに、地域のリーダー的役割を担い熊本県全体の観光の振興・発展に大きく寄与している。

## 【九州】

こうづき けいいちろう

平成 9 年～平成 22 年

鬼山観光株式会社 代表取締役社長

平成 19 年～29 年

公益社団法人ツーリズムおおいた 理事

平成 29 年～

大分県旅館ホテル生活衛生同業組合 常任相談役

令和 4 年～

一般社団法人別府市観光協会 顧問

**上月 敬一郎** (77 歳)



### 功績概要

平成 9 年に鬼山観光(株)代表取締役社長に就任以降、時代のニーズに対応した観光誘客に取り組み、別府観光のみならず大分県における観光振興に大いに尽力した。また、平成 19 年に大分県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長に就任し、旅館業における組織強化、後継者育成に努めるとともに、大分国体・全国障害者スポーツ大会においては「すべての人に優しいおもてなしの宿」として受入態勢の強化を実践した。平成 28 年に発生した熊本地震では、早期の復興に向けたホテルや旅館のキャンセル等影響調査、関係者等の意見取りまとめ等を指揮し、国や県等の復興支援に結びつけ、さらに(公社)ツーリズムおおいた理事として、宿泊施設を中心とした関連業界や団体の連携の促進・強化を図ることで地域全体の観光の魅力向上に貢献した。

## 【沖縄】

たかやま あつこ

昭和 44 年～57 年

東京都練馬区練馬東小学校 教諭

平成 8 年～15 年

東京都板橋区立金沢小学校 校長

**高山 厚子** (82 歳)

平成 20 年～23 年

東京都三鷹市教育委員会 就学相談員

平成 20 年～25 年

文教大学 論策ゼミ講師



### 功績概要

沖縄県修学旅行アドバイザーとして平成 25 年度から 18 年間で 268 校の学校で沖縄の事前・事後学習を実施。他・自治体や大学等でも沖縄講話を実施。又、沖縄料理研究者としても活動し、全国紙や専門誌等への執筆や講演を通して県産食材の調理法や沖縄文化の発信など、食を通して沖縄の認知度向上に貢献。

著作である「緑のカーテンの恵みを食べよう～ゴーヤー・ナーベラー」では各種メディアにも注目され、沖縄の食文化の発信や物産流通拡大にも貢献している。